

スマート IoT 推進フォーラム テストベッド分科会 データ連携・利活用ワークショップ

日時：2022年4月26日（火）15:00～17:00

場所：Web会議

スマート IoT 推進フォーラム テストベッド分科会では、NICT の総合テストベッドの利活用をはじめ、ICT 技術の普及・促進のためのテストベッド実装を目的に活動しています。最近においては、Society 5.0 の基幹インフラとなる Beyond 5G について、その社会的・技術的ニーズを検証可能なテストベッドの在り方を検討するため、各種タスクフォースを立ちあげ議論を開始しているところです。

近年、データを活用したサービスの開発に期待が集まり、データ利活用の技術開発や基盤構築など様々な取組が推進されています。しかし、サービスやアプリケーションの開発者にとっては、データ利活用の際のハードル、特に新たにサービスを開発しようとする、自分でデータを集めるのは時間やコストがかかる、入手が困難なデータがある、専門外のデータの理解など、まだまだ様々な課題があるように思います。さらに、Society 5.0 においては、サイバー空間とフィジカル空間の一体化（CPS: Cyber Physical Systems）が進展し、フィジカル空間における様々な物理的なやりとりをサイバー空間においてデジタルデータとして再現し、この膨大なデジタルデータを AI 等により分析し活用する新しいサービスやアプリケーションの開発が期待され、これまでよりも多様かつ大量のデータを活用することが必要になります。

テストベッド分科会では、「データを活用したサービス開発をもっと容易にできないか」、そして、「Beyond 5G 時代のデータの利活用とは」との課題意識のもと、識者の皆様との議論を通じ、データ利活用のためのテストベッドの在り方の検討に貢献したいと考えています。そこで、今回「データ連携・利活用ワークショップ」を開催し、様々な方のご意見をいただきながら、識者とともに議論を深めていきたいと考えております。企業活動や研究開発においてデータの取扱や利活用で苦労されている方、良い事例をお持ちの方、そして Beyond 5G 時代のデータの利活用を検討されている方は、ぜひご参加いただき情報を共有いただくと幸いです。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

プログラム

(敬称略)

15:00 開会/ワークショップ主旨説明 名古屋大学 河口 信夫

15:05-16:20 データ連携・利活用における現状と課題

- (1) 情報通信研究機構 永野 秀尚
- (2) 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 道方 孝志
- (3) 名古屋大学 河口 信夫

16:20-16:55 フリーディスカッション

データ連携・利活用促進にむけたテストベッド分科会での今後の活動方針について

16:55-17:00 まとめ/閉会 名古屋大学 河口 信夫

以上